



北中学校だより「飛翼」

睦月



令和5年1月10日(火)

三島市立北中学校

明けまして おめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申しあげます。

新年あけましておめでとうございます。明るく希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

5日から授業が再開されました。子供たちが登校時に談笑している姿から、友だちとの再開を楽しみにしていた様子を感じ取ることができました。

これから寒さが一層厳しくなることも予想されることから、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染拡大が心配されます。「手洗い」「うがい」や「三密を防ぐこと」等を徹底し、充実した学校生活となるよう努めていきたいと思ひます。御家庭での御協力もよろしくお願ひいたします。



【生徒総会での話し合いを学校生活に生かしていきます】

昨年、12月1日(木)、生徒総会が開かれ、各委員会から令和4年度前期の活動報告及び後期の活動計画が示されました。

その後、リモートによって、本部と各教室を繋ぎ「iPadのルールを決める」をテーマに、全校での話し合いが行われました。

カメラの使用・インターネットの使用・休み時間における使い方・ペナルティについて、話し合いが行われました。

ルールを決めることについては、「学習用として配付されていて、学習のために使いたいのにな、ルールによって使いにくくなったら意味がない」と主張する生徒が多く見られましたが、「学習といいながら、実際にはゲームをして遊んでいたたり、勝手に人や人の物を撮影したりしている生徒がいる」との意見も出されました。

後述する学校評価からも、学習用端末を有効活用することは、子供たちの資質・能力を育むことに有効であると考えますが、使い方によっては、健康に害を及ぼすことや、法に触れることにもつながります。この話し合いを生かし、子供たちが主体的によりよく活用していけるよう支援していきたいと思ひます。



【学校評価アンケートから】

学校評価アンケートへの御協力をありがとうございました。

生徒のアンケートでは、89%の生徒が、「学校が楽しい」と回答していました。「ルールやマナーを守っている」96%、「学校行事が充実している」91%、「一人一人を大切にした指導をしている」86%、「いじめのない学級づくり」89%との回答があり「学校が楽しい」の根拠となっていると思われました。



また、86%の生徒が「授業が分かる」と回答している中、92%の生徒が「タブレット端末を活用した授業は分かりやすい」と回答していることから、今後も、タブレット端末を有効活用していきたいと考えます。

アンケート結果からの課題は、「家庭学習習慣を確立すること」、「将来の生き方（進路）について考えること」だと感じます。

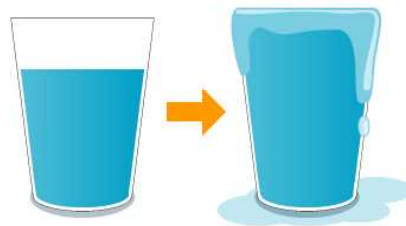
「家庭学習習慣の確立」においては、家庭学習を学習や授業に対する意欲につながる内容とし、タブレット端末を有効活用していきたいと思えます。

「将来の生き方について考えること」については、義務教育の最終学校である中学校の大きな役割であると考えています。そこで、来年度の重点目標の一つにあげ、地域の人材を活用するなど、保護者や地域の皆さんと連携して子供たちを育てていきたいと考えています。

保護者や地域の皆様方におかれましては、生徒たちがそれぞれの夢に向けて大きく羽ばたいていけるよう、本年も御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

【「心のコップ」(生徒指導主事の話から)】

皆さんの中にはコップがあります。それは、「心のコップ」です。人から冷やかしかからかいを受けたり、悪口を言われたりすると、心のコップに嫌な気持ちが水となってたまっていきます。でも、どのくらい嫌な気持ちの水がたまっているか、外からは見えません。「ちょっとふざけて言ってみただけ」「私なんか1回しか言ってない」と言うかもしれませんが、言われた側の心のコップが、もうすでに満杯だったらどうなるでしょうか？嫌な気持ちがあふれてしまい、「我慢できない」「人や物を傷つけてしまおう」「学校に行きたくない」となるかもしれません。また、中には「自殺」という選択肢を考える人がいるかもしれません。おかげさな話ではなく、実際に、そうして大切な命を失った人もいます。



もし皆さんの中に「悪口くらい言われたり、SNSに書かれたりしたことある」「私は平気だから、他の人にも言ってもいいでしょ」と考える人がいたら、是非この「心のコップ」の話を胸に刻んでください。どんなに軽い気持ちでも、ちょっとした一言でも、それは許されないことなのです。

12月の学校保健委員会では、相談することの大切さについて話がありました。心のコップの水がたまっている、また、たまっているかもしれないと思う人は、是非、誰でもいいので相談をしてください。相談することで、心のコップの水が減っていきますし、たまらない方法が見つかるかもしれません。